

平成29年5月
長井市（山形県）

○計画期間：平成28年4月～平成33年3月（5年）

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 平成28年度終了時点（平成29年3月31日時点）の中心市街地の概況

本市は、平成28年3月に認定を受けて以降、認定基本計画に基づき、「市民と観光客が集い 魅力あるまちづくり」「商業活動の活性化と多様な雇用の創出によるにぎわいあるまちづくり」「快適で安全に暮らせるまちづくり」といった3つの基本方針のもと、ハード事業及びソフト事業を含め、51事業に取り組んでいる。

進捗状況としては、5事業が完了し、33事業が着手・実施中、13事業が未実施となっている。

中心市街地の状況は、「観光交流センター整備事業」が完了し、4月中旬に開業予定となっている。

この観光交流センターは、当市の中心市街地活性化のステップである「人、モノ、情報をト・メ・る」の第1ステップが実現され、通過交通をまちなかへ誘導するための「まちの玄関口（交流拠点）」として「にぎわい創出」と「商業の活性化」に大きく寄与するものとして期待される。

このほか、まちなかの商店街エリアでは、民間まちづくり会社が街路整備事業に伴って実施する商業施設整備「本町テナント整備事業」が、平成29年度から整備を開始し、年度内に完成予定である。

この施設は、幅広い世代が利用できるスペースが整備される予定で「人、モノ、情報をト・メ・る」の第2ステップが実現される。

このことから、第1ステップの「まちの玄関口」である観光交流センターからまちなかへ誘導され、回遊の「小さな拠点」と地域コミュニティの憩いの場として、商業の活性化が期待される。

しかし、「都市計画道路街路整備事業」及び「本町テナント整備事業」を予定している地域において、唯一の食品スーパー「ヨークベニマル長井店」が撤退し、施設及び駐車場が現在、一時的に空き状態となっている。施設所有者において、食品系事業者と出店交渉しているものの合意には至っていない。その影響を受けてか、区域内における消費者の買い物動向が変化してきているものの、新たな創業等による市街地における空き店舗解消やにぎわい創出、経済の活性化に寄与する動きがでてきており、区域内全体として活性化に向けた機運が高まってきている。

2. 平成28年度取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

認定基本計画の目標である「まちなかのにぎわい創出」については、「中心市街地における創業事業所数」において目標値を上回る実績が報告され、「歩行者通行量」においても、主要事業である観光交流センターの完成により、観光地域づくりプラットフォーム事業の取り組みと合わせ、今後増加するものと期待できることから、概ね順調と評価する。

一方、都市計画道路桐町成田線における本町街路事業の進捗の遅れと、それに伴う弊害が随所に見られ、認定基本計画初年度の取り組みということもあり、中心市街地が活性化したという実感が乏しい。目標達成もさることながら、地域住民が誇りを持てるような持続可能性のある、西置賜地域の中心としてのまちづくりが望まれる。

今後はさらに、ハード事業の効果を高めるようなソフト事業同士の連携を強め、「稼ぐ力」の創出に向けた商業活性化や若い世代の後押しを支援していくことが必要であり、認定基本計画に掲げる諸事業が着実かつ速やかに展開されることを期待するものである。

Ⅱ. 目標毎のフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	前回の 見通し	今回の 見通し
まちなかの にぎわい創出	歩行者通行量 (休日)	190 人／日 (H26)	397 人／日 (H32)	132 人／日 (H28)	—	①
	中心市街地における 創業事業所数 (年間)	平均 1.6 件／年 (H22～26 平均)	平均 4.6 件／年 (H28～32 平均)	5 件／年 (H28)	—	①
交流人口の 拡大	まちなか観光客数 (年間)	199,657 人／年 (H24～26 平均)	393,057 人／年 (H32)	178,856 人／年 (H28)	—	①

<取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類>

- ①取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。
- ②取組の進捗状況は概ね予定どおりだが、このままでは目標達成とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
- ③取組の進捗状況は予定どおりではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。
- ④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

2. 目標達成の見通しの理由

（1）まちなかのにぎわい創出

「歩行者通行量」及び「中心市街地における創業事業所数」については、基本計画実施初年度であることを考慮し、概ね順調と思われる。

「歩行者通行量」については、主要事業である「観光交流センター」が平成29年3月に完成し、まちの玄関口としての役割から、今後増加するものと期待できる。また「中心市街地における創業事業所数」についても、初年度でありながら目標値を達成しており、引き続き支援体制を充実させていく。

なお、公共複合施設整備事業において1年間の整備計画の遅れが生じており、期間内に効果が表れないが、他の事業の効果により目標指数の達成は可能と見込んでいる。

（2）交流人口の拡大

「まちなか観光客数」については、基本計画実施初年度であることを考慮し、概ね順調と思われる。

主要事業である「観光交流センター」が平成29年3月に完成し、まちの玄関口としての役割と「観光地域づくりプラットフォーム」（※やまがた長井観光局の設立）の確実な実施により、今後増加するものと期待できる。

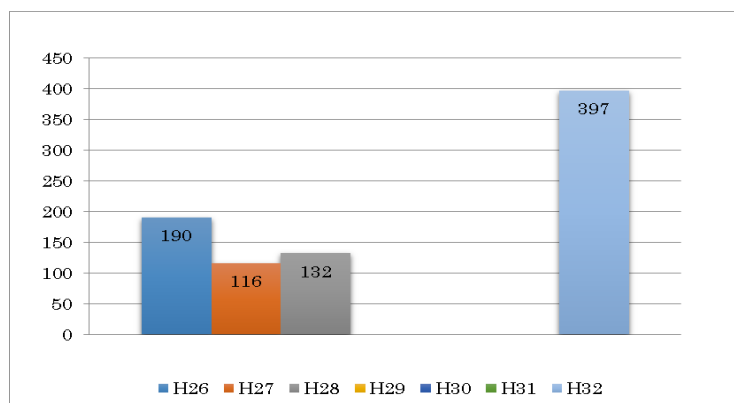
3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

前回のフォローアップは実施していない。

4. 目標指標毎のフォローアップ結果

「歩行者通行量（休日）」基本計画 P 6 7 ～ P 7 2 参照

●調査結果の推移



年	（人）
H26	190 基準値
H27	116
H28	132 最新値
H29	
H30	
H31	
H32	397

- ◇調査方法：区域内 3 地点において 9 時から 1 9 時まで計測
- ◇調査月日：秋季（9 ～ 1 1 月）休日
- ◇調査対象：歩行者（※参考値として自動車、自転車も同時測定）

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 観光交流センター整備事業（長井市）

事業完了時期	平成 28 年度【済】
事業概要	国道 287 号沿線に休憩、情報、地域との関係機能を持ち、通年型観光及び本市の総合的な拠点施設の整備
事業効果及び進捗状況	平成 29 年 3 月に整備が完了し、平成 29 年 4 月中旬開業予定。 まちの玄関口と「人、モノ、情報をトメる」役割を持ち、まちなか誘導及びにぎわい創出を図ることが期待できる。 本事業により、1 日あたり 65 人の休日歩行者通行量の増加を目指している。

②. 本町複合施設整備事業（俺たちの（株）楽街）

事業完了時期	平成 31 年度【未】
事業概要	本町中央十字路周辺にまちなかへの人の流れを生み出す役割を担う複合的な商業施設整備
事業効果及び進捗状況	事業は未着手のため効果が未定。 現在、施設整備計画及び経営計画を策定中。 本事業により、1 日あたり 178 人の休日歩行者通行量の増加を目指している。

③. まち歩き観光事業（長井市観光協会）

事業完了時期	平成 28 年度～【実施中】
事業概要	観光客及び市民のニーズに対応したまちなか観光を推進し、交流人口の拡大と中心市街地の活性化を図る

事業効果及び進捗状況	花観光の時期を中心に、やまがた長井観光局及び山形鉄道との連携などの取り組みにより 1,934 人の実績をあげた。 歩行者通行量の指標として、平成 32 年までに年間 185.5 人（1 日あたり 0.5 人）の増加を目標としていたが、基準とした平成 26 年度の 2.16 倍と目標を大きく超える実績となった。
------------	--

④. 観光地域づくりプラットフォーム事業（長井市観光地域づくりプラットフォーム）

事業完了時期	平成 28 年度～【実施中】
事業概要	市内の地域資源を活用した独自の旅行商品を企画・販売し、交流人口の拡大と賑わい創出を図る
事業効果及び進捗状況	平成 28 年 3 月に「やまがた長井観光局」として設立し、市内観光の窓口機能を一元化して積極的に観光客誘致に取り組んだ。平成 28 年度より開始したバス誘客助成事業や商品ラインナップの充実等の取り組みにより 5,805 名の実績をあげた。 歩行者通行量の指標としている平成 28 年度の目標数 2,460 人（1 日あたり 6.73 人）に対し、目標を大きく超える実績となった。

⑤. 公共複合施設整備事業（長井市）

事業完了時期	平成 33 年度【未】
事業概要	長井駅周辺における子育て支援及び関連する機能をもった複合型の施設を整備し、賑わい創出及び都市福利の向上を図る
事業効果及び進捗状況	国の補助事業の活用を予定しており、関連計画策定のため現段階で 1 年の遅れが生じている。平成 29 年度に施設の基本構想及び基本計画を策定し、平成 33 年度の完成を目指している。 本事業により、1 日あたり 24.9 人の休日歩行者通行量の増加を目指している。

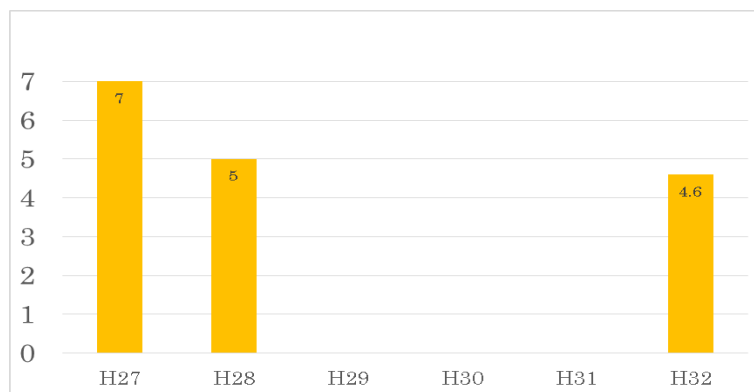
●目標達成の見通し及び今後の対策

基本計画認定後の初年度の歩行者通行量測定（平成 28 年 1 1 月）のため、上記の事業効果が発現してくるのは来年度以降となる。今後予定している国の補助制度等を活用した各事業を計画どおり実施することで、目標数値の達成は可能と考える。

なお、公共複合施設整備事業において 1 年間の整備計画の遅れが生じており、期間内に効果が表れないが、国登録有形文化財である「長井小学校第一校舎」をまなびと交流の拠点施設としてリノベーションする事業を進めており、当該施設において中心市街地のにぎわい創出が図られることから目標指数の達成は可能と見込んでいる。

「中心市街地における創業事業所数（年間）」基本計画 P 7 3 ～ P 7 5

●調査結果の推移



年	(件)
H22-26	1.6 基準値(平均)
H27	7
H28	5 最新値
H29	
H30	
H31	
H32	4.6 目標値(平均)

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 起業・創業支援事業（長井市）

事業完了時期	平成 28 年度～【実施中】
事業概要	市内の空き店舗等を活用して新規で創業を希望する個人や法人等に対して支援し、商業・サービス業を中心とする産業の振興及び中心市街地の活性化を図る
事業効果及び進捗状況	平成 28 年度 5 件が新規で創業し、中心市街地区域内を中心に空き店舗等が解消された。起業支援のほか、商工会議所と連携し、長期的な経営支援にも取り組んでいく。

②. 本町テナント整備事業（俺たちの（株）楽街）

事業完了時期	平成 29 年度【未】
事業概要	本町大通り商店街エリアにおいてオフィスや飲食店などの複合的な施設を民間まちづくり会社が整備し、商店街の振興と賑わい創出を図る
事業効果及び進捗状況	国の補助事業の活用を予定していたが、申請との調整がとれず、遅れている。現在、平成 29 年度当初申請を想定し、平成 29 年度完成を目指している。本事業により、3 件の創業事業所数の増加を目指している。

③. 本町複合施設整備事業（俺たちの（株）楽街）

事業完了時期	平成 31 年度【未】
事業概要	本町中央十字路周辺にまちなかへの人の流れを生み出す役割を担う複合的な商業施設整備
事業効果及び進捗状況	事業は未着手のため効果が未定。現在、施設整備計画及び経営計画を策定中。本事業により、7 件の創業事業所数の増加を目指している。

④. 公共複合施設整備事業（長井市）

事業完了時期	平成 33 年度【未】
事業概要	長井駅周辺における子育て支援及び関連する機能をもった複合型の施設を整備し、賑わい創出及び都市福利の向上を図る
事業効果及び進捗状況	国の補助事業の活用を予定しており、関連計画策定のため現段階で 1 年の遅れが生じている。平成 29 年度に施設の基本構想及び基本計画を策定し、平成 33 年度の完成を目指している。 本事業により、3 件の創業事業所数の増加を目指している。

⑤. その他創業支援につながる事業（長井市）

事業完了時期	平成 28 年度～【実施中】
事業概要	商店街組織やまちづくり団体等が賑わい創出及びサービス向上に寄与する取り組みに対して支援しているもの
事業効果及び進捗状況	団体等（交付団体：6 団体）が自ら取り組み、市民を中心としたターゲットを集客し、まちなかへの誘客と商店街の活性化に寄与した。 まちなかの賑わい創出と商業機能の向上が図られることにより、中心市街地における新規創業が後押しされることを期待する。

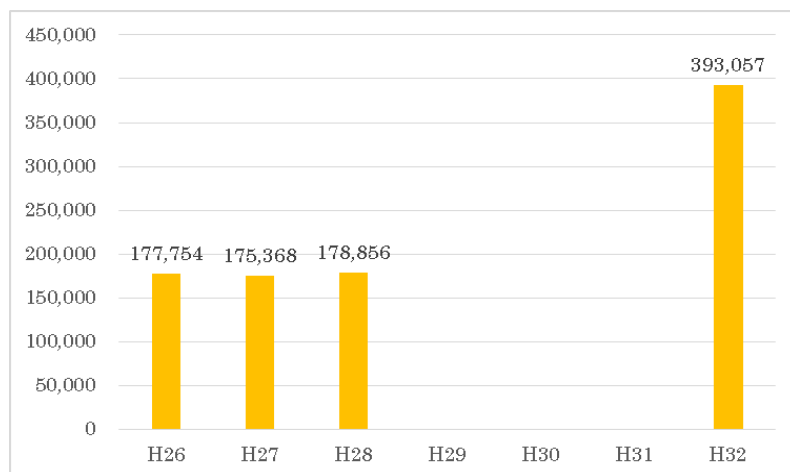
●目標達成の見通し及び今後の対策

中心市街地における新規創業事業所数については、初年度でありながらも目標値を達成した。これは実施中の事業である「起業・創業支援事業」の効果が表れたと考えており、引き続き関係団体と連携し、支援体制を充実させていく。

なお、公共複合施設整備事業において 1 年間の整備計画の遅れが生じており、期間内に効果が表れないが、まなびと交流の拠点施設としてリノベーションする「長井小学校第一校舎」の教室の一部を、起業家等に向けたレンタルオフィスとして活用する予定であり、目標指数の達成は可能と見込んでいる。

「まちなか観光客数（年間）」基本計画 P 7 5 ～ P 7 8

●調査結果の推移



年度	（人）	
H24-26	199,657	基準値（平均）
H26	177,754	
H27	175,368	
H28	178,856	
H29		
H30		
H31		
H32	393,057	目標値

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 観光交流センター整備事業（長井市）

事業完了時期	平成 28 年度【済】
事業概要	国道 287 号沿線に休憩、情報、地域との関係機能を持ち、通年型観光及び本市の総合的な拠点施設の整備
事業効果及び進捗状況	平成 29 年 3 月に整備が完了し、平成 29 年 4 月中旬開業予定。 市の観光振興全体の要となる重要な施設として、まちの玄関口と「人、モノ、情報をトメる」役割を持ち、まちなか誘導及びにぎわい創出を図り、まちなか観光客数の増加にも大きく寄与することが期待される。 本事業により、185,000 人のまちなか観光客数の増加を目指している。

②. 観光地域づくりプラットフォーム事業（長井市観光地域づくりプラットフォーム）

事業完了時期	平成 28 年度～【実施中】
事業概要	市内の地域資源を活用した独自の旅行商品を企画・販売し、交流人口の拡大と賑わい創出を図る
事業効果及び進捗状況	平成 28 年 3 月に「やまがた長井観光局」として設立し、市内観光の窓口機能を一元化して積極的に観光客誘致に取り組んだ。平成 28 年度より開始したバス誘客助成事業や商品ラインナップの充実等の取り組みにより 5,805 名の実績をあげた。 本事業により、平成 32 年度までに 8,400 人のまちなか観光客数の増加を目指しており、平成 28 年度は 2,460 人を目標値としていたが、2.35 倍と目標を大きく超える実績となった。

●目標達成の見通し及び今後の対策

基本計画認定後の初年度であるため、上記の事業効果が発現してくるのは来年度以降となる。

平成 29 年 3 月に完成した観光交流センターがまちの玄関口として機能し、「観光地域づくりプラットフォーム」（※やまがた長井観光局の設立）の確実な実施により、今後増加するものと期待できる。

今後は各事業が個々に取り組むのではなく、相乗効果を生み出すために連携した取り組みにつながるよう進めていく。